

## 平成 28 年度入学試験問題（推薦入試 II）

# 小 論 文

工学部 情報工学科

### 注意事項

1. 受験番号は解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えのないように注意すること。
4. 解答時間は、90 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

30年後に人工知能が人間の知能を追い越すといわれており、人工知能の有益性と危険性の両面が議論されています。SF作家アシモフは以下に示す「ロボット三原則」を小説の中で提案しました。これにならって「人工知能三原則」をつくり、その理由を800字以上、1200字以内で論じなさい。

### 第一条

ロボットは人間に危害を加えてはならない。また、その危険を看過することによって、人間に危害を及ぼしてはならない。

### 第二条

ロボットは人間に与えられた命令に服従しなければならない。ただし、与えられた命令が、第一条に反する場合は、この限りでない。

### 第三条

ロボットは、前掲第一条および第二条に反するおそれのないかぎり、自己をまもらなければならない。

## 平成 28 年度入学試験問題（推薦入試 II）

# 小 論 文

### 工学部 情報工学科

#### 出題の意図

情報技術の未来について論じさせる出題で次に示す事項を問うものである。

- (1) 情報工学の分野への関心を問う。
- (2) 自らの考えを論理的に伝える能力を問う。

上記 (1) はアドミッションポリシーにおける「情報分野への関心」、(2) は論理的な表現力という意味で「基礎学力」に関連付けられる。

ここ数年、人工知能の分野において大きな進展があり、関連学会では 30 年後のことまで話題に上がっている。現在の受験生が社会の中心となって働いている時代の情報工学の状況を予測し、情報工学のあるべき姿を追求して論じることを期待している。